

2019年度 社会福祉法人ウイング 事業報告

平成から令和へと時代の節目となった2019年度でしたが、創設者である初代理事長の退任、本部・各拠点の新体制スタートなど、ウイングにとっても節目となる年度となりました。地域の福祉ニーズに柔軟に応え、より良いサービス提供を目指して、実績・成果もありましたが、一部に不適切な支援があり、利用者・家族の方々に不安や心配をおかけするような状況もありました。改めて、法人全体として、人権擁護意識の向上、そのための仕組みづくりや取り組みの創意・工夫、人材育成など、確実な実践と弛まぬ努力の必要性を実感した年度となりました。

【法人本部】

基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉法人としての使命の追及 ○適正かつ公正な法人運営 ○積極的な情報公開・情報発信
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(1) 理事会の開催

	開催日	出席数	議決事項
第1回	R1/6/5	理事6名 監事1名	H30年度事業報告・決算報告、R1年度補正予算第1号、役員選任候補者の選任、苦情解決第三者委員の選任、定時評議員会の開催
第2回	R1/6/24	理事6名 監事2名	理事長の選定
第3回	R1/9/17	理事5名 監事1名	非常勤就業規則の一部改正、慶弔規程の一部改正、資格取得支援規程の全部改正
第4回	R1/12/6	理事6名 監事2名	給与規程の改正、人事評価規程の全部改正、R1年度補正予算第2号、第2回評議員会の開催
第5回	R2/3/17	書面決議の同意 理事6名 監事2名	就業規則及び非常勤就業規則の一部改正、補正予算第3号、R2年度事業計画・予算、第3回評議員会の開催 *新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議

(2) 評議員会の開催

	開催日	出席数	議決事項
第1回	R1/6/24	7名	役員選任、H30年度事業報告・決算報告、補正予算第1号

第2回	R1/12/10	書面決議 同意7名	R1年度補正予算第2号
第3回	R2/3/24	書面決議 同意7名	R2年度補正予算第3号、R2年度事業計画・予算 *新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議

(3) 監事監査

- 開催日 令和1年5月24日
- 場所 ワーク&ライクのびっこ食堂
- 内容 平成30年度事業報告及び会計監査 結果：適正

(4) 委員会プロジェクト関係

- キャリアパスプロジェクト：会議12回
 - ・給与規程（賃金等級・手当支等の見直し）及び人事考課制度の改正案作成
 - ・新考課表のモデル試行・アンケート実施・見直し・最終案決定
 - ・考課者訓練実施 など
- 研修委員会：会議14回
 - ・新任研修（年5回）
 - ビジネス基礎・虐待防止・権利擁護・グループワークなど、年間を通して実施
 - ・法人全体研修（年2回）
 - 第1回「自己覚知～あなたの知らないアナタって～」GW 11/9開催
 - 第2回「自己覚知～自分を知って相手を知る」講師：公認心理士 2/8開催
 - ・研修委員会だよりの発行（年5回）
- 福利厚生委員会：会議11回
 - ・バーベキュー大会（10月） ・法人新年会（1月）
- スマイルフェス実行委員会：会議7回
 - ・第4回 smile∞smile fes：令和1年5月12日（日）開催
 - ・内容は、手作り市・ライブ演奏など。川島町健康福祉まつり・バラ祭り同時開催、来場者約8,000人

(5) 事務局

- ・請求管理・人事管理・給与管理・経理など各拠点と連携しおおむね順調に進んだ。
- ・特定処遇改善加算の検討。算定に必要な各要件や職員へ支給条件を確認し、次年度4月からの算定に向けて準備を行った。
- ・理事長への月次報告書の提出、及び経営会議での報告・共有を行った。
- ・10月の消費増税に伴い、各就労支援事業売上の対応及びカフェ（テイクアウト）・マハロ販売の軽減税率制度に対応した。
- ・情報公表システム及びホームページにて必要な情報を更新した。広報紙発行（1月）

I のびっこ拠点

【多機能型事業所ワーク&ライクのびっこ】 生活介護・就労継続支援B型

重点 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○いつでも、日々の生活を安心して過ごせる温かい場として居続ける ○利用者が一生をのびっこで安心して過ごせる環境を根付かせていく ○作業に利用者を合わせるのではなく、利用者にあった仕事を確保し、利用者の課題に応じた作業内容を設定する ○利用者が「生活の主人公」生き活きと輝いていく ○利用者支援を通して楽しさを感じられるチーム作り ○職員も働きやすい環境づくり
----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1. 職員体制 管理者1名・サービス管理責任者1名・嘱託医1名・看護師2名
生活支援員23名・職業指導員1名・目標工賃達成指導員1名
管理栄養士1名・調理員3名・事務員1名・運転手3名
計 38名（うち常勤20名）

2. サービス提供実績

契約者 58名 生活介護：40名…新規1名 就労B型：18名…新規2名

性別	女性	男性	計
生活介護	16	24	40
就労B	8	10	18
計	24	34	58

市町村	川島	川越	北本	計
生活介護	36	3	1	40
就労B	17	1	0	18
計	53	4	1	58

支援区分	1	2	3	4	5	6	未認定	計
生活介護	0	0	0	3	16	21	0	40
就労B	0	2	5	2	0	0	9	18
計	0	2	5	5	16	21	9	58

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60以上	計
生活介護	1	7	20	8	4	0	40
就労B	0	5	3	4	3	3	18
計	1	12	23	12	7	3	58

利用者工賃

- 就労支援B型 年間支給総額 5,742,104円（前年度4,931,517円）
平均月額 27,344円（前年度26,802円）
時給換算額 346円（前年度299円）
- 生活介護 年間支給総額 4,949,771円（前年度4,531,900円）
平均月額 11,249円（前年度18,726円）

授産売上	カフェ	パレット	ジャquette	エラン	マハロ	合計
h 30 年度	12,725,553	2,246,277	5,605,660	263,256	3,394,722	24,235,468
2019 年度	14,481,559	3,369,860	3,455,444	280,437	3,390,895	24,978,195
前年度比	113.8%	150%	61.6%	106.5%	99.9%	103.0%

2019年度 通所実績数																
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度	前年度比	
生活介護	定員	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	—	
	契約者数	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40.0	39.3	102%	
	通所日	21	21	20	22	18	19	22	21	20	19	18	242	242	100%	
	利用者延数	745	727	588	711	616	667	766	727	704	663	634	739	8,287	8,303	100%
	平均利用者/日	35.5	34.6	29.4	32.3	34.2	35.1	34.8	34.6	35.2	34.9	35.2	35.2	34.2	34.3	100%
利用率(定員比)	118%	115%	98%	108%	114%	117%	116%	115%	117%	116%	117%	117%	114%	114%	100%	
就労継続支援B型	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度	前年度比
	定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	—
	契約者数	16	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17.8	16.8	106%
	通所日	24	25	24	25	20	22	25	24	23	21	23	25	281	289	97%
	利用者延数	275	308	275	299	260	280	296	293	272	256	256	276	3,346	3,127	107%
平均利用者/日	11.5	12.3	11.5	12.0	13.0	12.7	11.8	12.2	11.8	12.2	11.1	11.0	11.9	10.8	110%	
利用率(定員比)	115%	123%	115%	120%	130%	127%	118%	122%	118%	122%	111%	110%	119%	108%	110%	

2019年度 ランチサービス実績数																
ランチサービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比	
利用者食数	933	904	897	985	769	872	947	900	897	845	793	917	10,659	10,365	103%	
	65%	64%	63%	64%	65%	64%	63%	63%	64%	65%	64%	63%	64%	61%	—	
職員食数	502	507	492	547	413	478	538	502	493	456	441	532	5,901	5,757	103%	
	35%	36%	35%	36%	35%	35%	36%	35%	35%	35%	36%	37%	35%	34%	—	
ボランティア他	6	9	29	5	10	10	18	22	4	3	8	3	127	159	80%	
	0%	1%	2%	0%	1%	1%	1%	2%	0%	0%	1%	0%	1%	1%	—	
総計	1,441	1,420	1,418	1,537	1,192	1,360	1,503	1,424	1,394	1,304	1,242	1,452	16,687	17,072	98%	

2019年度 送迎サービス実績数(回数)																
送迎サービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度	前年度比	
就労B型	263	305	291	332	256	293	321	328	294	284	276	287	3,530	3,408	104%	
生活介護	1137	1079	1083	1181	901	1017	1138	1115	1118	1070	995	1171	13,005	12,567	103%	
合計	1400	1384	1374	1513	1157	1310	1459	1443	1412	1354	1271	1458	16,535	15,975	104%	

実施状況

○マハロ班

- ・利用者個々の個性や強みを生かし、作業ができるよう支援を行った。
- ・ふるさと納税返礼品「クッキー詰め合わせギフト」が前年度比3～4倍になった。
- ・週単位から月単位の作業計画にしたことで、効率的な作業となった。
- ・授産作業を時間内でできる量に調整し、職員の時間外勤務が減った。
- ・食品表示法の改正に伴い、栄養成分表等のある新しいラベルにした。

○エラン班

- ・マハロクッキーのコラボ商品でタグ製作・匠クリスマスリース・年始飾り・つまみ細工など、利用者個々の力を発揮し協同で完成させた。
- ・定期的な納品・買物・牛乳パック回収など行い、地域とのつながりを作ってきた。
- ・毎日の生活リハビリや公園清掃など、年齢を考慮し運動の機会をできるだけ行った。

○ジャquette班

- ・利用者中心の作業内容の改善を図るため、段ボール回収を中止したが、その機会を有効に生かせなかった。
- ・一部に不適切な支援が横行し、利用者・家族に不安と不信を与える状況となってしまう

った。法人から川島町へ虐待通報・実態把握・改善策の検討など、法人全体でその対処にあたった。

○パレット班

- ・新規利用者2名が増えた。収支や注文状況の確認を利用者が中心に行えるようにした。
- ・手作りPR・既存商品のアレンジでリピート客の増加・お客様からの意見を商品開発、などで在庫を大幅処分できた。

○カフェ班

- ・各利用者が自ら積極的にそれぞれの業務に取り組んだ。
- ・在庫管理表や予約管理ボードの記入など利用者の業務とした。手洗いの徹底も図った。
- ・利用者研修として、他の就労B事業所見学（大樹作業所・夢工房翔裕園）を実施した。
- ・川島カレーを商品化。テレ玉生中継にて紹介した。
- ・埼玉カレーサミット・川島町旬まつりなど町外イベントにも積極的に出店した。
- ・橋の欄干（リコークラブ様から寄付）や柵・裏門など外回りの修繕をした。

○ランチサービス

昼食に関するアンケート実施（4月）、保護者試食会（2月）、行事食の提供、各班会議出席し連携強化、衛生管理点検・細菌検査の実施、防災用ローリングストック・仕入を地元の業者に変更、GH・SSとの連携、ブログにて情報発信など

○年間行事

入所式（4月）、かわじま春まつり（5月）、水泳教室参加・夕涼み会（8月）、日帰り旅行（行先：横浜八景島／参加92名：利用者47名・スタッフ35名・ボランティア10名）・青空まんぷく会（10月）・農工商祭（11月）、クリスマス会（12月）、班別レクリエーション（新型コロナ感染拡大防止のため中止）

※職員業務の軽減のため、恒例だった暑気払い・餅つき会・一泊旅行はなくなった。

○健康管理

常勤看護師を配置し、保健衛生・健康管理の体制強化を図った。

健康診断（4月・11月）、職員健康診断（5月）、体重測定（月1回）、保健便り（年6回）、服薬管理の見直し、感染症に関する勉強会、保健衛生関係備品の整備 他

○防災訓練・点検

消防避難訓練（6月・11月・3月）、防災総合訓練・地震体験（11月）

自主点検（5月・7月・2月）、消防施設の点検（7月・1月）

○実習生等の受入

特別支援学校生徒：3校6名 特別支援学校5年経験教員施設体験：1校2名

専門学校・大学等：5校9名

○ボランティア 延べ134名（前年度182名）

3. サービス向上の取組

職員研修

○外部研修（参加者19名）

ヤマト福祉財団障がい者の働く場パワーアップフォーラム・サービス管理責任者基礎研修・福祉サービス苦情解決セミナー・摂食嚥下リハビリテーション実践研修会・埼玉県障害者虐待防止権利擁護研修・労務管理者研修・給食業務担当者研修・行動援護従事者研修（7）・医療薬の基礎研修・法律基礎知識・防火管理者・食品衛生責任者実務講習会・はじめての福祉研修

○内部研修

緊急時対応・権利擁護（4月）、体制届から支援と報酬を理解する（5月）、これからのびっこ（6月）、安全運転研修（7月）、感染症の理解と予防（10月）、虐待防止の基礎理解（12月）

危機管理対策

各報告について、朝会にて速やかに共有するとともに、班会議・班連携会議等で共有・対応の検討を行い、事故の未然防止や支援向上に努めた。

○ヒヤリはっと 53件（前年度42件）

利用者間の接触や転倒・服薬など（35）・送迎や車両内に関すること（16）・その他（2）

○事故報告 8件（前年度9件）

車両の破損（3）・利用者の怪我（3）・職員の怪我（1）・財布の紛失（1）

○苦情報告 7件（前年度0件）

支援に関すること（1）・運転に関すること（2）・職員間の情報共有（1）・通知内容に関すること（1）・他の利用者に関すること（1）・車いすに関すること（1）

※いずれも解決済み

II かわじま地域生活支援センター拠点

今年度から、かわじま町相談支援事業所きらりとライフサポートそらが、かわじま地域生活支援センターとして一体的に事業展開した。相談支援とペルパー事業所との特性を生かし生活に密着した支援を行うことができた。スピーディーな状況収集・相談、ニーズに応じたサービス提供が行え、利用者・家族の安心につながった。

【かわじま町障がい児・者相談支援事業所きらり】

特定相談支援・障害児相談支援・生計困難者相談支援

重点 目標	<ul style="list-style-type: none">○現在の相談支援の継続（本人・家族の希望に沿った総合的な計画）○きらり Smile サロンの更なる発展○生活困窮者支援の発展○川島町の地域力アップ・連携の強化
----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1. 職員体制 管理者1名・相談支援専門員2名（管理者兼務1名） 計 3名

2. サービス提供実績

計画相談契約者 137件（新規7件・終了4件）

計画作成……延103件 ・モニタリング……延309件

川島町認定調査 22件

性別	児童	成人	計	主な障害	児童	成人	計
女	10	46	56	知的	21	72	93
男	15	66	81	身体	1	10	11
計	25	112	137	精神	2	29	31
				難病	1	1	2
				計	25	112	137

援護市町村	児童	成人	計
川島町	24	104	128
川越市	1	4	5
北本市	0	1	1
桶川市	0	1	1
さいたま市	0	1	1
越谷市	0	1	1
計	25	112	137

月別実績		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年	前年比
児童	契約数	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	31	81%
	計画	2	0	0	23	0	0	1	0	0	0	0	1	27	34	79%
	モニタリング	1	1	1	1	1	4	5	5	2	6	5	5	37	66	56%
成人	契約数	112	112	112	110	109	109	109	111	113	113	113	112	113	114	99%
	計画	9	0	3	38	3	2	5	1	7	4	4	0	76	58	131%
	モニタリング	18	23	26	10	9	20	15	29	38	19	26	39	272	277	98%
全体	契約数	137	137	137	135	134	134	134	134	138	138	138	137	136.0	145	95%
	計画	11	0	3	61	3	2	6	1	7	4	4	1	103	92	112%
	モニタリング	19	24	27	11	10	24	20	34	40	25	31	44	309	343	90%
認定調査		1	0	0	3	4	0	4	3	2	3	1	1	22	40	55%

きらり smile サロン

実施月	内 容	参加者数
5月	自己紹介・今年度計画	4名
6月	就労支援A型事業所の見学	5名
7月	前回見学を活かしてデジカメ・パソコンの使い方	6名
8月	同上	5名
9月・10月	大型台風等のため中止	—
11月	運動・卓球	4名
12月	ゴミ分別について学ぶ、忘年会・カラオケ	6名
1月	新年抱負を語る・正月ゲーム	4名
2月・3月	新型コロナ感染防止等のため中止	—
合 計		延べ34名

実施状況

- ・異動により相談員が2名とも新しくなったが、本人や周りの力を中心にきめ細やかなサービスを組み立て、関係機関（医療・学校・事業所・行政など）と連携し総合的な支援が継続できるように努めた。
- ・医療が必要な方の医療連携支援・学校入学児童の支援チーム作り・新たなグループホーム（生活場所）を探す等、本人や家族の希望に沿って支援が円滑にできるように行った。虐待の疑いケースの依頼もあり、関係機関と連携しながら、支援を継続している。
- ・きらり smile サロンについては、参加者が増えていない状況であった。軽度の障がいのある方が参加しやすいカルチャースクール等を検討し進めていく予定である。
- ・生活困窮者相談支援は、2件依頼があったが、体制上の理由で1件は他施設が対応した。
- ・町保健センター主催の情報交換会に毎月参加した。新設された川島町社協の総合相談ともケースを通じ情報交換した。
- ・きらり主催による町内関係機関との事例検討会（2月）を実施した。今年度は、10月の大型台風の災害対応について意見交換や課題の共有を図る場となった。きらりとしては天災時マニュアル作りが課題である。
- ・昨年度打診していたモニタリングの時期について、川島町は今年度から更新を迎えた利用者から順に、基本は利用者誕生日月となった。

3. サービス向上のための取り組み

- 研修 埼玉県相談支援基礎研修（全4回）1名・相談支援従事者現任研修1名
障害認定調査研修1名
- ヒヤリはっと 0件（前年度0件）
- 事故報告 0件（前年度0件）
- 苦情報告 0件（前年度2件）

【ライフサポートそら】

居宅介護等・移動支援・訪問介護等・生活サポート・るんるんクラブ

重点 目 標	○サービス（支援）の質の向上	○ニーズに応えられる体制づくり
	○業務の統一化と標準化	○安全運転意識向上
	○地域とのつながりを大事に	

1. 職員体制

管理者 1名・サービス提供責任者 2名（管理者兼務 1名）

主任 1名 9月23日～産休育休

ヘルパー 8名・登録型ヘルパー 22名 計 30名（うち常勤 6名）

2. サービス提供実績

事業別	契約者（h31.4.1～R2.3.31）	利用実績／年間
障害（居宅介護等）	40名	8165.5時間
介護（訪問・予防）	5名	589.4時間
移動支援	65名	3444.5時間
生活サポート	122名	3170時間
るんるん	36名	延参加409名

行動援護・重度訪問介護・居宅介護・同行援護／月別利用実績															
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
援行	23	23	23	23	23	23	23	23	24	24	24	24	233	230	101%
護動	493.5	499.5	446.0	499.5	538.5	468.0	395.0	481.5	521.5	471.5	503.0	428.5	5,746.0	5,904.5	97%
訪重	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	1.0	100%
問度	17.0	14.0	16.0	6.0	0.0	1.0	0.0	3.0	2.5	2.5	3.5	0.0	65.5	245.5	27%
介居	13	13	13	13	13	13	13	13	15	15	15	15	13.7	13.8	99%
護宅	165.0	159.5	155.5	166.5	165.5	158.5	160.0	163.0	176.0	170.0	159.5	171.0	1970.0	2052.0	96%
援同	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	2.3	2.0	117%
護行	28.5	28.5	25.5	24.0	27.5	25.0	26.5	21.5	49.0	53.0	47.5	27.5	384.0	327.5	117%
合計	37	37	37	37	37	37	37	37	40	40	40	40	38.0	38.1	100%
利用時間	704.0	701.5	643.0	696.0	731.5	652.5	581.5	669.0	749.0	697.0	713.5	627.0	8165.5	8529.5	96%

訪問介護・予防訪問介護／月別利用実績															
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
介訪	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3.8	1.7	225%
護問	36.75	41.50	36.00	38.75	39.50	36.00	38.75	38.75	35.15	34.75	28.50	32.00	436.40	226.50	193%
訪予	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	2.8	36%
護防	13.00	14.00	12.00	14.00	13.00	13.00	14.00	12.00	12.00	10.00	14.00	14.00	153.00	297.00	52%
合計	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4.8	4.4	110%
利用時間	49.75	55.50	48.00	52.75	52.50	49.00	52.75	50.75	47.15	44.75	40.50	46.00	589.40	523.50	113%

移動支援・月別利用実績															
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
身介	30	30	30	30	30	31	32	32	31	31	32	33	31.0	30.8	101%
護護	112.0	107.5	110.0	126.5	121.5	132.5	139.0	136.0	138.0	143.0	151.0	133.0	1550.0	1322.5	117%
身介	32	32	32	32	32	31	30	29	29	29	28	28	30.3	32.4	94%
護護	187.0	191.5	175.5	164.0	147.5	158.5	156.5	153.5	152.5	163.5	158.0	86.5	1894.5	2247.5	84%
合計	62	62	62	62	62	62	62	61	60	60	60	61	61.3	63.3	97%
利用時間	299.0	299.0	285.5	290.5	269.0	291.0	295.5	289.5	290.5	306.5	309.0	219.5	3444.5	3570.0	96%

生活サポート・月別利用実績															
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
利	122	122	122	122	122	122	122	120	120	119	120	121	121.2	120.5	101%
用	59	65	66	68	66	68	64	63	64	58	60	58	63.3	65.8	96%
実	292.5	262.0	278.0	288.5	280.0	290.0	240.0	258.5	268.5	243.5	242.0	226.5	3170.0	3052.0	104%
績															

るんるんクラブ

○登録者数 36名（川島町内 34名、川島町外 2名）

○発表の場 よさこい&ダンス舞台発表…ウイングフェス（5月）

音楽…のびっこ夕涼み会（8月）

フラダンス…川島町生涯学習フェスティバル発表（11月）

フラワーアレンジ（キッズ含む）…川島町中央文化展展示（11月）

平成の森老人保健施設での発表を3月予定していたが新型コロナで中止

プログラム	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	開催数
よさこい	11	10	11	11	12	10	11	10	12	8	11	—	117	11
フラダンス	—	—	—	10	11	8	10	9	—	—	—	—	48	5
音楽	13	15	14	13	11	—	—	—	—	—	—	—	66	5
調理	—	—	—	—	—	—	—	8	—	8	—	—	16	2
フラバー	12	11	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	35	3
工作	—	—	—	—	—	9	9	—	—	—	—	—	18	2
鑑賞会	—	—	—	—	—	—	—	—	11	—	10	—	21	2
ドッチボール	—	—	—	—	—	—	—	—	14	12	14	—	40	3
キッズ	6	4	5	4	6	4	6	4	6	3	—	—	48	10
合計	42	40	42	38	40	31	36	31	43	31	35	—	409	43

グループ外出

実施日	内容	行先	参加数
4月（13・14日）	ハイキングに行こう	飯能市 天覧山	13名
5月（4・5日）	小江戸川越を楽しもう	川越 七福神めぐり	14名
6月（1・2日）	スポーツを楽しもう	新座 CKボウル	14名
7月（6・7日）	水族館に行こう	品川アクアパーク	15名
8月（3・4日）	博物館に行こう	大宮 鉄道博物館	13名
9月（7・8日）	食べ歩きをしよう	宇都宮駅周辺	12名
10月（5・6日）	船に乗ろう	浅草水上バス	16名
11月（9・10日）	動物に会いに行こう	東松山こども動物園	12名
12月（7・8日）	冬のイベントを楽しもう	さいたま新都心	15名
1月（4・5日）	初詣に行こう	東京タワー・増上寺	14名
2月（1・2日）	新名所に行こう	飯能ムーミンパーク	14名
3月（7・8日）	遠出をしよう	西武秩父駅周辺	7名
年間実績：実施日数／24回 延参加人数／132名 ヘルパー確保できず断った数／4名			

実施状況

- ・10月より個別支援会議に対応ヘルパーが参加できるように変えたことで、担当職員が持っている情報と対応ヘルパーの情報の共有が行えた。課題を共有し支援計画に反映できた。対応ヘルパーも個別支援計画と一緒に検討することでサービスの質の向上につながった。会議資料の省力化も図られた。会議の進め方など会議の質の向上が課題である。

- ・利用者や家族の高齢化、介護の重度化が多くなり、相談員との連携を図りながら、ニーズに応じたサービス提供を行った。
- ・センターになったことで、日中の留守番電話の時間・件数が減った。
- ・人材確保のために、募集チラシ掲示やヘルパー養成校実習生受入、法人内応募者の共有、ロコミなど様々な取り組みを行い、登録ヘルパー4名が増えた。
- ・スタッフ会議の内容の見直しを図り、月3回から2回へ効率化を図った。
- ・勤怠管理の確認方法を見直し、勤務の実態把握ができるようになった。残業時間も減らすことができた。
- ・主任業務が多いため、各職員の業務分担の見直し、登録ヘルパー勤務簿（そらカード）の改善、データソフト機能の活用などにより、時短につながった。
- ・乗車前点呼表に各自でチェック、安全運転講習会の実施、事故発生時一斉メールで注意喚起など、交通事故防止対策を行った。
- ・外出支援等で地域イベント等の参加や、るんるんクラブで地域の人材が講師・ボランティアとして参加など、地域とのつながりを大切に取り組んだ。

3. サービス向上の取り組み

職員研修

○外部研修（参加者5名・延10日）

介護技術研修、強度行動障害支援（基礎と実践）、交通事故、同行援護従事者養成、福祉有償運送運転者講習

○内部研修

安全運転ポイント（毎月）・事例検討（19回）・個人情報取り扱い（4月）・リスクマネジメント（5月）・介護記録について（6月）・交通安全講習会（7月）・普通救命講習会（10月）・虐待防止（2月）・感染症対策（12月）

危機管理対策

○ヒヤリはっと 5件（前年度34件）

転倒のおそれ・手荷物忘れのおそれ・喧嘩と誤解されたなど

○事故報告 36件（前年度12件）

人身事故・車両擦り・転倒・誤薬・行方不明・介護記録紛失・派遣遅刻忘れ
手荷物忘れ・把握不足など

○苦情報告 4件（前年度3件）

謝罪対応に不信感・男性ヘルパー調理・事務所前の路上駐車・派遣開始時間

○保健衛生管理

職員健康診断（5月）・感染予防対策・インフルエンザ予防接種の補助奨励 他

○車両運行管理

日常点検・法令点検・車検の実施・車両内外清掃・配車 他

その他

そら通信・るんるん通信の発行（各12回／年）

Ⅲ にじ拠点

【グループホームにじ】 共同生活援助

重点 目標	<p>○個々の利用者の生活スタイルに合わせた支援を出発点とし、ニーズや思いにしっかりと向き合い、実現させていく。またその過程で各個人の健康状態の把握や体調管理に重点的に対応する。</p> <p>○本人・家族・各関係機関と連携して日々の生活を支える</p> <p>○常に利用者の人権への意識を持った支援をおこなう。</p> <p>○地域の中のグループホームとして、地域交流を大切にする。</p> <p>○業務の改善・効率化・スキルアップを図り、働きやすい職場づくりをおこなう。そのことが利用者支援の充実に資するようになる。</p>
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1. 【職員体制】

管理者兼サービス管理責任者 1名・世話人兼生活支援員 1名

世話人 3名・生活支援員（夜間） 6名・生活支援員（休日） 2名

計 13名（うち常勤 2名）

2. サービス提供実績

契約者 6件/定員 6名（R2年 3月 31日現在）

性別：女性 3名・男性 3名 出身地：川島町 6名

支援区分	1	2	3	4	5	6	計
人数	0	0	0	1	2	3	6

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60以上	計
人数	0	0	2	2	2	0	6

利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
開所日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	365
利用者 延数	180	186	180	186	186	180	186	180	186	186	174	186	2196
平均利 用/日	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
利用率 定員比	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %

実施状況

- ・入居者の生活リズム・スタイルは確立されており、本人主体という観点から、個人ごとの異なる生活スタイル・生活リズムを大切に支援した。

- ・各入居者においては、保護者のほかに、相談支援機関、日中サービス機関、ヘルパー事業所等複数の関係機関が関わっている。日頃の様子、通院時の情報共有など、連携を大切にしてきた。
- ・ここ数年入居者の通院など健康面に対する支援の度合いが少しずつ上がってきており、また全般的な介助度が上がってきている入居者もいる。職員間で情報・対応を統一するとともに、関係機関とも連携して必要な支援をおこなっている。
- ・保護者とホームの役割について、金銭管理・通院対応など個別状況に合わせた対応を行ってきた。また、保護者への連絡（様子・体調等）も同様である。
- ・生活の場面ということで利用者と職員の距離感が密接になりがちであり、人権擁護について日頃より職員の意識啓発を行ってきた。また、ホーム運営の特性上、多くの職員が支援に関わるという形になるため、入居者が混乱しないように、会議や業務日誌等による引き継ぎの充実に努めた。
- ・今年度も、下八ツ林地区の皆様より、地区美化運動（年3回）や種まき運動（下八ツ林活動組織・年3回）に声を掛けて頂き、入居者と職員で参加した。回覧板も出来る限り入居者と一緒に回すようにして、地域の皆様と交流が出来るように努めた。その他、職員が防犯パトロールや地区懇親会にも出来る限り参加し地域交流を大切にしてきた。
- ・10月の台風の際には、避難せずホームで待機した。今後、水害時の具体的な対策を講じていく必要がある。
- ・昨年度の流行を踏まえて、冬前からインフルエンザなど感染症の予防に努めてきた。年度末にかけては新型コロナウイルスの感染防止対策にも努め、手洗い・消毒の徹底など行った。

3. サービス向上のための取組

職員研修

常勤職員が中心となって外部研修に参加し、そこで学んだことをスタッフ会議の場で各職員に反映できるようにした。また、にこにこ・ぬくぬくと隣接した事業所という点を活かして、研修情報の交換や職員間の交流などを積極的に行った。

○外部研修（参加者1名・延3日）

摂食嚥下リハビリテーション初級研修、強度行動障害支援者養成研修（実践）

○内部研修

権利擁護虐待防止研修（6月・2月）・感染症研修（1月）

危機管理対策

生活の場面ということで、日常の介助の場面で危険が生ずることが多い。大きな事故につながらないように前もっての配慮や、物理的な危険の除去を講じていく。

○ヒヤリはっと 18件（前年度14件）

利用者間の接触（4）・介助関係（3）・薬の飲み忘れ（3）・暴力（2）・ホーム

からの飛び出し（２）・薬の紛失（１）・転倒（１）・IHコンロ取扱い（１）・貴重品の放置（１）

○事故報告 0件（前年度5件）

○苦情報告 0件（前年度0件）

IV にこにこぬくぬく拠点

【にこにこ】 児童発達支援・放課後等デイサービス

重点 目標	<p>○より専門性を踏まえた支援を行い、質の面における利用者満足度を高める。その過程においては、各スタッフが今までの経験を踏まえて、積極的に携わる。</p> <p>○職員が専門性を発揮することで、特に重度児童への対応を強化する。</p> <p>○利用率の向上のために、既存利用者の利用ニーズの把握、新規利用者の受け入れ、キャンセル待ちの方への対応など、柔軟な受け入れを行う。</p> <p>○業務の効率化により、より一層の働きやすい職場作りを推し進める。そこで生じた余力が支援の充実にかさされる。</p> <p>○地域福祉力向上の一環として、ボランティア等の受け入れに力を入れる。気軽に足を運んでもらう。</p>
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1. 職員体制

管理者 1名・児童発達支援管理責任者 1名・事務員 1名・清掃員 1名

保育士 3名・児童指導員 3名・指導員 1名 計 11名（うち常勤 7名）

2. サービス提供実績

契約者 34件／定員 10名

放課後等デイサービス・・・ 32名

児童発達支援・・・・・・・ 2名

性別	女性	男性	計
放課後等デイサービス	11	21	32
児童発達支援	1	1	2
計	12	22	34

市町村	川島	川越	吉見	東松山	上尾	桶川	北本	計
放課後等デイ	10	11	3	1	4	2	1	32
児童発達支援	2	0	0	0	0	0	0	2
計	12	11	3	1	4	2	1	34

学校・学年別	児童発達	放課後等デイ対象				計
	未就学	小学部 1~3年	小学部 4~6年	中学部	高等部	
川越特別支援学校		1	1	3	4	9
ひばりが丘特別支援学校		1	3	3	1 1	1 8
上記以外	2	2	0	2	1	7
計	2	4	4	8	1 6	3 4

利用実績数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
開所日	26	27	25	27	23	25	27	26	24	24	25	26	305
利用延数	225	228	215	229	196	204	222	212	214	220	208	231	2604
平均利用/日	8.6	8.4	8.6	8.4	9.0	8.5	8.4	8.2	8.9	9.1	8.3	8.8	8.5
利用率	86%	84%	86%	84%	90%	85%	84%	82%	89%	91%	83%	88%	85%

実施状況

- ・年間利用率は85%であった。放課後等デイサービスの利用がほとんどであるが、児童発達支援は定期利用が1名であった。
- ・10月に台風のため1日休業した。一方、今年度はインフルエンザや積雪の流行はほとんどなかったため、冬場に利用率が落ちることはなかった。新型コロナウイルスの影響により臨時休校等への対応をおこなうが、今年度中の利用率に影響はなかった。手洗い、消毒、換気等の感染予防を強化した。
- ・短期入所「ぬくぬく」と二つの異なる事業を行っている中、4年が経過し事業所としてのスタイルが確立された。職員の創意工夫により、支援に対する話し合いの時間を定期的に取り、支援全体の質の向上は意識して行った。今後も伸ばしていける余地があり、さらに力を入れていく。
- ・利用曜日の変更など利用者ニーズに柔軟に対応した。
- ・多様な障害特性の方を受け入れており、当日の利用人数、児童の特性など考慮しつつ活動プログラムの立て方等を日々工夫し、毎日が充実した活動になるように努めた。特に年齢層や障害の幅が広く、出来る限り他児童との多様な関わりに配慮した。
- ・送迎サービスのニーズが高く、送迎範囲が多方面にわたる。効率的な送迎体制や安全運転の徹底に努めた。
- ・相談支援機関や学校との連携が重要な利用者については、関係機関との連携を密に図り、支援や対応の統一に努めた。各相談支援機関等が主催する担当者会議においては、出来る限り勤務を調整して出席した。
- ・9月「にこにこ祭り」、1月「保護者交流会（座談会）」を開催し、職員と利用児童・保護者との交流を図った。7月に未契約者対象の「ワークショップ」を開催した。

3. サービス向上のための取組

職員研修

○外部研修（参加者6名・延8日）

発達障害支援専門研修（4回）、クレーム対応研修、摂食嚥下リハビリテーション初級研修、虐待防止権利擁護研修、話し方・折衝・交渉力向上研修

○内部研修

虐待防止権利擁護（6月）・接触嚥下に関する研修（7月）・個人情報保護（9月）・感染症研修（11月）・安全運転、車椅子操作（1月）

危機管理対策

ヒヤリはっと報告は車に関する事項が多かった。傾向を分析して事故防止に努めていく。支援については、より一層利用者ごとの配慮を徹底していきたい。

○ヒヤリはっと 40件（前年度20件）

転倒、転落、つまずき（9）・他者との接触（4）・運転中の危険（4）・貴重品の放置（3）・連絡ノートの紛失、入れ間違い（3）・怪我（2）・車中車いすの固定（2）・危険物の放置（2）・行方不明未遂（1）・本人の体調（1）・事業所携帯の充電切れ（1）・送迎間違い（1）・その他車に関すること（7）

○事故報告 1件（前年度14件） 車両のカギの紛失（1）

○苦情報告 0件（前年度0件）

その他

○放課後等デイサービスガイドライン及び児童発達支援ガイドラインに基づく自己評価を実施し、法人ホームページに公開した。

○にこぬくだよりの発行（月1回）

【ぬくぬく】短期入所事業

重点 目標	<p>○食事・入浴・睡眠等の各場面において、各利用者のニーズを踏まえた上で、利用者主体、利用者の立場に立った支援をおこなう。また、保護者との連絡を密にし、安心して利用して頂くようにする。</p> <p>○緊急時対応については、優先的に調整して全て受け入れるようにする。</p> <p>○より良いサービス提供の観点から、業務の標準化、及び効率化をすすめる。</p>
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1. 職員体制・・・にこにこ兼務

管理者1名・事務員1名・生活支援員7名

計9名（うち常勤6名）

2. サービス提供実績

契約者 女性27名・男性43名 計70件／定員4名

市町村	川島	川越	吉見	上尾	桶川	東松山	北本	坂戸	鶴ヶ島	計
	41	9	5	5	4	2	2	1	1	70

区分	1	2	3	4	5	6	児童1	児童2	児童3	計
	0	0	6	8	15	27	0	1	13	70

利用実績数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
開所日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	28	29	31	363
利用者延数	230	235	226	238	234	231	213	223	229	205	219	235	2718
平均利用/日	7.6	7.5	7.5	7.6	7.5	7.7	6.8	7.4	7.3	7.3	7.5	7.5	7.4
利用率	95%	94%	94%	95%	94%	96%	85%	92%	92%	91%	94%	94%	93%

実施状況

- ・オープンして4年目も安定した利用状況であった。月によって予約の段階で空きが生じる日もあり、利用の変更・追加の依頼、新規利用者の契約など、柔軟に対応してきた。契約者の全てのニーズに応えることを目標にして、職員配置、利用者の様子を踏まえながら、利用調整を行った。緊急ではないものの、定期利用以外の日に利用を希望される方については、事情をお聞きしながら、出来る限り対応するようにしてきた。また、キャンセルが発生した場合には、必要としている方に声をかける流れが定着した。
- ・10月の台風の際には利用を休止した。新型コロナウイルスに関しては、手洗い、消毒、換気、食事時に距離を取るなど、等により感染予防を強化した。
- ・緊急時受入については、常に対応できる連絡体制を取っていた。年間実績は1名2件であった。いずれも予約していた他利用者に快く譲って頂いた。引き続き、利用者間の支え合い精神で成り立っている仕組みである。
- ・利用ニーズは多様であり、個々のニーズに合わせた支援を行っている。本人の様子に関しては連絡ノートでのやりとりとともに、前日に保護者に連絡をして共有するように努めた。
- ・夜間支援及び深夜帯は1人体制ということもあり、特に虐待防止・権利擁護については、研修への参加や日頃の啓発などで意識向上を図ってきた。

3. サービス向上のための取組

職員研修

*にここに参照

危機管理対策

薬に関する件は、服薬前に職員2人で声を掛けあい確認をするなど、細心の注意を払っているが、引き続きの対応を徹底していく。

○ヒヤリはっと 24件（前年度10件）

怪我（2）・転倒つまずき（2）・異物を食べる（2）・薬を落とす（2）・服薬内容の間違い（2）・持ち物の入れ間違い（2）・貴重品の紛失未遂（2）・貴重品の放置（2）・備品器物破損（2）・薬を吐き出す（1）・むせこみ（1）・他者との接触（1）・ひとりで浴室へ（1）・室外へ大声（1）・職員転倒（1）

○事故報告 6件（前年度10件）

備品器物破損（3）・誤薬（2）・服薬忘れ（1）

○苦情報告 0件（前年度0件）